

令和5年度第6回タウンミーティング質疑等の要約

令和5年11月30日（木）西地区コミュニティセンターにて第6回タウンミーティングを開催しました。いただきました御質問・御要望等について、以下のとおり報告します。

なお、過去のタウンミーティングで寄せられた質疑等の要約については、お知らせかわみなみにて配布、町ホームページにて公開していますので、御確認ください。

タウンミーティングは、月1回を目途に、各地区を回りながら開催する予定です。日程・場所については、防災無線等にてお知らせします。多くの方の参加をお待ちしています。

1 町長、財政課長による議会報告、町政運営方針及び令和5年度予算説明に対する質疑無し

2 質疑・要望等

1	病児病後児保育施設の利用料について、居住地によらず安くないか。 子育て支援センター利用者がオムツを持ち帰らないようにできないか。
回答	状況を確認し、回答する。 病児病後児保育施設の利用料は、令和5年10月から県・町による助成が始まっており、ケアルームこどもんを利用する町民の方は窓口負担無し、町外の方もお住まいの自治体に申請することで、自己負担額500円で利用できるようになっている。 オムツの持ち帰りについては施設側で処分できるように調整した。
2	タウンミーティングに若い世代が参加し、ともに町を作っていくことに対するお考えは。今後の中学校の統合について第3者機関を設置してアンケートを行うと報道があったが、進捗は。 タウンミーティングの参加者が町長のブレーンで政策決定に力を発揮されている方に固定されているのでは。
回答	タウンミーティングは公務との調整で日程を決めてきた。若い人たちとの会合ができるような形を絶えず考えていきたいと考えている。 アンケートの取り方については、中学校の統合に限った発言ではない。進め方については教育委員会で考えることである。 ブレーンというものではなく、知り合い、顔見知りの方々である。町政のことは副町長と教育長と進めている。
3	歳入の寄附金が当初予算20億のところ、補正で58億に上がっているとのことだが、都農町が寄附対象自治体から外れていることのほかに、増えた原因についての分析は。次年度も同様に期待できるのか。
回答	ふるさと納税はあくまで寄附であるので、過大な期待のもと予算化することは適切でないと考えている。多くの事業者に参加いただき、豊富な商品を揃えることができていることが一番の要因だと考える。また、ポータルサイト等をフルに活用し、寄附希望者に情報を届けることができていることが寄与していると考えている。

	ふるさと納税を利用されていない方は、まだ大勢おられるものの、あくまでも寄附であり、社会情勢を含め見通しは難しいところ。
4	教育長は小中学校を訪問されたか。 中学校について方針があれば聞かせていただきたい。
回答	校長とはお会いした。必要に応じて訪問したい。 教育は学校、家庭、教育委員会、地域の四位一体で同じ方向を向いて子どもを育てていく組織力が大事。子どもの学力が大切。現小中学生の学力は上がらない。三つ子の魂百までというように幼児期の子育てが大事。家庭で計画的にやる必要がある。幼稚園保育園とも幼児の学力について話していくつもり。

※プライバシーに関わるもの等は、個別対応とさせていただきます掲載しておりません。